

浦幌川柳会

一寸見は良い人なのに消えた夢
生甲斐の勝負と笑ういい仲間
ギヤひとつ抜いて邪心を干して見る
作業衣が似合う此の身をいとおしむ
老いの身に心の開く春が来た
憲法は俺と総理の鼻っぱし
餌まいて小鳥待ってる顔なじみ
あげ底のみやげに重い義理の栗
箱くれた指より落ちる夢の砂

加藤 未貴
佐藤 信一
阿部 麗紅
橋本 葉子
佐藤 長崇
山村 幹雄
白木 二十重
竹村 鮮明
星 愛子

浦幌短歌会

牧場の杭打ち進んで峰に立てば
住む町が見ゆ街並みが見ゆ
山吹きの色さやかに夕茜
かたむき老ひいまゆるやかに歩む
三年ごししだれ桂の芽ぶきくる
梢先きまで赤くつやめき
咲き初めて咲くほかはなき花の
下雨の寒さを言ひ交しつ
ふだん着に抹茶のもてなし受けるなり
年の差を越え午後にくつろぎ
わたくしを愛したるゆえその汗に
濡れしあなたよ永遠であれ
地下茎のいたどり突と十糧
苺畑に憎まれたくて
こだわりに弾む心も失いぬ
知らず語らず風吹き抜けて
住み古りて庭の百花の咲く位置も
おのずからなり盛衰もまた

米司 好美
福澤 米子
山崎 阿己
山口 恵子
長谷川アキ
藤井 桃子
後藤 年子
星 愛子
亀田みや子

ことぶき俳句会

休日や静かな町の蝉しぐれ
老人会知床くなしり夏の海
雨晴れて木々の中より蝉の声
鴉二羽電線で鳴く夏夕
汗などは出ないと嘆き病み長し
高く低く舞いつつ消える夏の蝶
兄逝きぬ牡丹の花に見送られ
亡き父に贈りたきもの父の日よ
安売りのチラシにためる露の皮
わらび折る音を忘れて隣より
妻恋という橋を渡るいもの花

大山さよ子
越坂 順子
下坂 しず
徳地はつ子
橋本 葉子
羽柴 秋子
広瀬 ミヨ
福澤 米子
福原 仁子
宮部あき子
高橋 悦子

上浦幌句の会

大往生枯れ木の如く悔いはなし
地の果てのサマワの空におよぐ鯉
ビート苗お手々離され一人立ち
足腰が弱って今日も口元気
お題句は暗夜手さぐり物さがし
リラの花初夏の便り漂わせ
スタートできらめく瞬間胸に秘め
よく伸びた菜に声かける雨の朝
初対面若いと酒の二枚舌

広瀬マサヨ
経堂 ハナ
河村みよ子
坂井 春苑
山田 ナツ
大西 功
山田 エツ子
福田すま子
芳川 乙美

みんなの文芸

編集後記

表紙の写真は、吉野幼稚園・小学校の合同運動会です。映画「北の零年」の取材(3日)とエキストラとして参加(4日)してきました。取材はすぐ横を通る吉永さゆりさんに感動。やつぱり、女は肌よ！肌。年齢を聞いて驚きました。撮影では、とろくろの砂浜や笹の中を歩くエキストラを見て、「明日はやだな」とちよっと思っ。4日はやつぱり、「こなきやよかった」、「ここまで待つか」と心で叫ぶ。子どもの風邪を理由に來なかつたN君、そんなナイスな断り方、事前に教えといてくれ！でも、今では「貴重な体験できて良かった」と思えるようになってきています。案あれば苦ありとはこのことか。(やす)

広報に掲載された写真は、ご希望の方に差し上げますので、お気軽にご連絡下さい。